

対話でつなぐ「個人の想い」と「チームの未来」

「問い」の力で未来を作る 「コーチング・マネージメント」 ワークショップ



演者1 村瀬正彦

昭和医科大学横浜市北部病院
こどもセンター 准教授
小児科医



演者2 大塚志保

株式会社コーチ・エイ
エグゼクティブコーチ
執行役員（医療ユニット）

抄録

周産期医療の現場では、高度な専門性と緊密な多職種連携が不可欠であり、次世代が自律的に育つ環境作りが急務となっている。近年、米国産婦人科学会（ACOG）等の教育指針においても、従来の「指導（Teaching）」を補完する戦略として「コーチング」の重要性が強調されている。本手法は、単なる知識や技術の伝達に留まらず、対話を通じて個々の目標達成に必要な要素を棚卸しし、それらを個別対応で備えさせるプロセスである。

コーチング的関わりはコミュニケーション等の非技術的スキルを向上させ、組織の心理的安全性を高めることが示されている(1,2)。また、指導医による適切な「信頼付与」が、患者のアウトカムを損なうことなく若手の成長と主体性を加速させるという報告されている(3)。本ワークショップでは、「自ら考え、成長する時間を創出する」というコーチング・マネージメントの本質を紐解く。指導者が一方的な助言から「問いかけ」へと関わり方を変えることで、メンバーの内発的な動機を引き出し、個人の想いをチームのビジョンへと統合する具体的な技法を習得する。

(1)Orlando MS, Greenberg CC, Pavuluri Quamme SR, Yee A, Faerber AE, King CR. Surgical coaching in obstetrics and gynecology: an evidence-based strategy to elevate surgical education and promote lifelong learning. Am J Obstet Gynecol. 2022;227(1):51-56.

(2)Louridas M, Sachdeva AK, Yuen A, Blair P, MacRae H. Coaching in Surgical Education: A Systematic Review. Ann Surg. 2022;275(1):80-84.

(3)Williams AM, Karmakar M, Thompson-Burdine J, et al. Increased Intraoperative Faculty Entrustment and Resident Entrustability Does Not Compromise Patient Outcomes After General Surgery Procedures. Ann Surg. 2022;275(2):e366-e374.

演者1：村瀬正彦

昭和医科大学横浜市北部病院
こどもセンター 准教授 小児科医

2000年 昭和大学医学部医学科卒業

2020年 国際コーチング連盟(ICF)認定

ACC (Associate Certified Coach) 取得

2022年 昭和医科大学横浜市北部病院 こどもセンター
准教授 現在に至る。

開催場所

パシフィコ横浜 会議センター
第10会場 4F 『418』

日時

7/13(月) 14:50 ▶ 16:20

セミナー構成

20分 国内外のエビデンスに基づく理論解説

60分 実際の対話スキルを体験するワークショップ

10分 質疑応答

個人の想いを尊重しながら、共に未来を創り上げる
ための新しいマネージメントのあり方を提示する

演者2：大塚志保

株式会社コーチ・エイ
エグゼクティブコーチ/執行役員（医療ユニット）

2000年 神奈川県立外語短期大学 英語学科 卒業

2012年 株式会社コーチ・エイ入社

医療領域を中心とした組織変革支援を推進

2018年 国際コーチング連盟(ICF)認定

PCC (Professional Certified Coach) 取得

2023年 執行役員就任 医療領域の事業を統括
現在に至る。